

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【公開番号】特開 2011-129376 (P2011-129376A)

【公開日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報 2011-026

【出願番号】特願 2009-286690 (P2009-286690)

【国際特許分類】

F 2 1 S 8/12 (2006.01)

F 2 1 S 8/10 (2006.01)

H 0 1 S 5/022 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 8/12 1 3 0

F 2 1 S 8/10 1 7 1

H 0 1 S 5/022

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 28 日 (2012.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

励起光を出射する励起光源と、

上記励起光源から出射された励起光を受けて発光する発光部と、

上記発光部が出射した光を反射することにより、所定の立体角内を進む光線束を形成する反射鏡とを備え、

上記励起光源を複数備え、複数の励起光源の出力を合計することで上記励起光の出力を高め、

上記反射鏡の光軸に対して垂直な平面に、発光部を投影したときの投影像の面積は、 $100\mu\text{m}^2$  以上  $3\text{mm}^2$  以下であることを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

上記複数の励起光源からの励起光を集光して上記発光部に導く導光部をさらに備え、

1 つの上記導光部に対して上記複数の励起光源が配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の発光装置。

【請求項 3】

上記導光部は、上記複数の励起光源からの励起光を受光する入射端部と、当該入射端部において受光した励起光を上記発光部に射出する射出端部とを備えることを特徴とする請求項 2 に記載の発光装置。

【請求項 4】

上記複数の励起光源の光出力の合計は、6W 以上 30W 以下であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の発光装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の発光装置を備えることを特徴とする車両用ヘッドランプ。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の発光装置を備えることを特徴とするプロジェクタ

。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の発光装置を備えることを特徴とする照明装置。

【請求項 8】

励起光を出射する励起光源と、

上記励起光源から出射された励起光を受けて発光する発光部と、

上記発光部が出射した光を反射することにより、所定の立体角内を進む光線束を形成する反射鏡とを備え、

上記励起光源から出射され、上記発光部に照射される励起光の放射束は、3 W 以上 30 W 以下であり、

上記反射鏡の光軸に対して垂直な平面に、発光部を投影したときの投影像の面積は、 $100\ \mu\text{m}^2$  以上  $3\ \text{mm}^2$  以下であることを特徴とする発光装置。